

令和7年度

学生募集要項

【特別選抜】

《帰国生徒特別選抜》

インターネット出願について

本要項を確認し、以下のサイトより出願を行ってください。

滋賀県立大学インターネット出願サイト

(<https://e-apply.jp/ds/usp/>)



冊子での学生募集要項の配布は行いませんので、本学の Web サイトから閲覧またはダウンロードしてください。

【帰国生徒特別選抜の日程】詳細については、本要項内で必ず確認してください。

事 項	日 程	
障害等のある入学志願者の 事前相談	令和6年10月11日（金）※配慮を希望する者のみ	
インターネット出願登録及 び検定料の支払期間	令和6年10月25日（金）～令和6年11月8日（金）	
出願書類提出期間	令和6年11月1日（金）～令和6年11月8日（金）	
大学入学共通テスト	課さない推薦	課す推薦
試 験 日	令和6年11月23日（土） または 令和6年11月24日（日）	令和6年11月24日（日）
合 格 者 発 表	令和6年12月10日（火）	令和7年2月12日（水）
入 学 手 続 期 間	令和7年3月8日（土）～令和7年3月15日（土）	

〒522-8533 滋賀県彦根市八坂町 2500

滋賀県立大学入学試験実施本部(事務局教務課入試室)

TEL 0749-28-8217、8243

FAX 0749-28-8472

E-mail nyushi@office.usp.ac.jp

Web サイト 最新の情報は、Web サイトから確認してください。

滋賀県立大学入試情報サイト
<https://www.usp.ac.jp/nyushi/>



(滋賀県立大学入試情報サイト)

スマホ・携帯電話サイト(大学情報センター)
<https://daigakujc.jp/usp/>
大学概要・出願状況速報・合格者受験番号案内 など



(スマホ・携帯電話サイト)

【目 次】

大学の目標・教育の特色	1
I 学生受入方針（アドミッション・ポリシー）	2
II 入学定員と募集人員	17
III 帰国生徒特別選抜	18
1 出願資格	18
2 選抜方法	18
3 出願手続等	20
4 合格発表	22
5 注意事項	23
令和7年度特別選抜の実施教科・科目等	24
IV 入学手続、初年度納付金等	31
インターネット出願の流れ	34

個人情報の取り扱いについて

本学が入学者選抜等で取得する個人情報は、「個人情報の保護に関する法律」ならびに「公立大学法人滋賀県立大学の保有する個人情報の保護等に関する規程」等により関係法令を遵守し、次の業務で利用します。

- ①出願に当たって取得した個人情報は、入学者選抜（出願処理、受験票発送、試験実施、成績処理等）、合格通知、入学手続案内、入学者選抜方法の調査・研究等の入試事務および付随する業務に利用します。また、入学者選抜で用いた試験成績等の個人情報は、入学者選抜方法の検討や大学教育の改善のための調査・研究、入試情報の提供に関する業務を行うために利用します。ただし、調査研究結果の発表および入試情報の提供に関しては、個人が特定できないように処理します。
- ②合格者のみ入学に伴う教務事務（学籍、修学指導等）、学生支援事務（健康管理、奨学金申請、後援会等）、授業料等の収納事務および付随する業務に利用します。
- ③上記事務処理の一部を外部に委託し、個人情報を受託業者に提供した場合は、関係法令等により、個人情報の漏えい、滅失またはき損の防止、その他個人情報の適切な管理に必要な措置に万全を期します。
- ④国公立大学の一般選抜における合格決定業務を円滑に行うため、学校推薦型選抜の合格および入学手続に関する情報が、独立行政法人大学入試センターおよび併願先の国公立大学に送達されます。

大学の目標

滋賀県立大学は、滋賀県における学術の中心として、未来を志向した高度な学芸と、悠久の歴史や豊かな自然、風土に培われた文化を深く教授研究するとともに、新しい時代を切り拓く広い視野と豊かな創造力、先進的な知識、技術を有する有為の人材を養成することを目的としています。

また、開かれた大学として、県民の知的欲求に応える生涯学習の機会の提供や地域環境の保全、学術文化の振興、産業の発展、人間の健康など、滋賀県の持続的発展の原動力として大きく寄与することを使命としています。

この大学設置の基本理念を踏まえ、次の基本的な目標を定めています。

- ・「キャンパスは琵琶湖。テキストは人間。」という開学当初からのモットーをより一層発展させ、琵琶湖を抱く滋賀ならではの教育研究をさらに進めます。
- ・時代の流れを先取りし、先駆的・戦略的なものの見方ができる、進取の気性に富む人が育つ大学づくりを進めます。
- ・グローバル化の進展等による国際化の諸問題に対応する新しい時代に向けたモデルとなる大学を目指します。

教育の特色

(1) 4年一貫教育

より確かな知識と技術の修得を目指し、各学部別にその目的に従った個性的な教育を系統的に実施するため、専門科目を4年間にわたって一貫して編成する完全な4年一貫教育を実施します。これにより、それぞれの学部に入學した学生は、1年次から専門分野の講義を受けることができます。

(2) 目標を明確にした基礎教育の重視

全学部に通ずる全学共通基礎科目、学部の専門的な共通基礎科目、および学科の基礎科目が、すべて各学部・学科の教育目標に合わせて選ばれており、最も適切な年次に学ぶことができるようになっています。

(3) 人間を深く見つめる「人間学」

全学共通科目の中で、人間・環境・社会・文化を知る「人間学」が4年間いつでも履修できます。目まぐるしく変化する現代社会の中で、人間と環境、社会、文化を深く理解し、人間というものを深く見つめ、生き方を探るのが「人間学」です。人間探求学を1年次の必修とし、入門・概説ではなく、現実の問題に立論して、ひとつの見解に達するまでのプロセスを追求する様々な科目を選択科目としています。

(4) 変革力を身につける「地域教育」

地域と大学が人材を共育し、地域を共創する自立圏域「びわ湖ナレッジ・コモンズ」の形成をめざし、地域課題に対する教育・研究・社会貢献に取り組んでいます。

地域教育では、全学共通科目の地域基礎科目、各学部・学科の地域志向専門科目、全学部生が選択可能な地域学副専攻を通して地域課題とその解決法について体系的に学び、コミュニケーション力、構想力および実践力を兼ね備えた変革力を身につけることを目指します。

(5) 少人数による対話・討論型の授業

教員と学生の日常的な触れ合いを重視するという基本方針のもとに、フィールドワークや実験・実習などにおいて、少人数による対話・討論型の授業が多くあります。

例えば、1年次の必修科目である「人間探求学」は、学科ごとに5、6名のグループに分け、大学で学ぶために必要な能力を養うことをねらいとし、教育の原点である人間と人間のふれあいの機会を提供しています。

(6) 他学部・他学科の履修

学生の多様な学習意欲に応えるために、学部・学科の多様性を生かし、他学部、他学科で修得した単位を卒業単位として認定し、より幅の広い人材の育成を目指します。

I 学生受入方針（アドミッション・ポリシー）

滋賀県立大学の受入方針

滋賀県立大学は、環境科学部、工学部、人間文化学部、人間看護学部の4学部からなり、「キャンパスは琵琶湖。テキストは人間。」をモットーに、「環境」と「人間」をキーワードにした「人が育つ」大学として、平成7年（1995年）に設立されました。琵琶湖に隣接し、緑豊かな自然環境のなかで、近江の歴史や多様な文化・産業を背景に、「地域に根ざし、地域に学ぶ」実践的教育が展開されています。

滋賀県立大学の学生は各学部・学科が掲げている人材養成の目標に向かって、体系的に配置された授業科目を段階的に学びながら自己形成に努めます。この教育目標を達成するために、必要な基礎学力を基盤にして、主体的に学び、自らの将来像の実現を目指そうとする意欲的な学生を求めます。そのため、滋賀県立大学では主に次の3種類の入学試験を行っています。

- (1) 一般選抜・前期日程（大学入学共通テスト、個別学力試験、志望理由書等を併用した、幅広い基礎知識、思考力および主体性等についての選抜試験）
- (2) 一般選抜・後期日程（大学入学共通テスト、学科の専門を反映させた個別試験、志望理由書等を併用した、専門分野に関わる知識、技能、表現力および主体性等についての選抜試験）
- (3) 特別選抜（学校推薦型選抜 A、B、C、D）（総合問題、実技試験あるいは大学入学共通テストと面接を併用した、学力および主体性等についての選抜試験）

さらに、特別選抜（帰国生徒特別選抜、私費外国人留学生特別選抜）を実施し、多様な学生の受け入れに努めています。

環境科学部環境生態学科

環境生態学科は、自然科学に関する専門知識と技術を基盤として、人と自然が複雑に関わりあうなかで生じる環境問題を発見し、その科学的な解決法を主体的かつ積極的に提案できる人材の育成を目指しています。この教育目標を達成するために、次のような学生を求めます。

1. 求める学生像

- ① 自然環境に対する知的好奇心や探究心と、環境問題に対する強い関心を持ち、自ら積極的に学ぶ意欲を有する人（関心・意欲）
- ② 自然科学に関する専門知識と技術を身につけるために必要な基礎学力を有する人（知識・理解）
- ③ 課題解決に取り組むために必要な高い洞察力と論理的かつ柔軟な思考を有する人（思考力・判断力）
- ④ 美しくも厳しい自然のなかで行われる環境調査を途中で投げ出さず最後までやりきるための努力を惜しまない人、すなわち、たくましくしなやかな人間性を有する人（持続力・集中力）

2. 入学者選抜の基本方針

環境生態学科の入学試験では、高等学校までの教育課程を尊重し、基礎学力（知識・理解）を重視します。さらに、高校教育や日常生活によって培われた論理的思考力・判断力、自然環境への関心、学ぶ意欲、主体性など、本学科への適応性についても評価します。このため、一般選抜（前期日程・後期日程）と特別選抜を実施し、それぞれ、大学入学共通テスト、個別学力試験（小論文）、個別面接（口頭試問を含む）の中から2つを組み合わせる課します。

3. 選抜方法

【一般選抜（前期日程、後期日程）】

一般選抜（前期日程、後期日程）では、環境科学を学ぶ上で必要となる基礎学力に加え、自然科学に関する知識と論理的思考力を重視します。このため、大学入学共通テスト（国語・地歴公民・数学・理科・英語・情報）と個別学力試験（小論文）を課します。また、自然環境への関心、学ぶ意欲、主体性など、本学科への適応性を評価するため、志望理由書等を参考資料とします。

【特別選抜（学校推薦型選抜）】

特別選抜（学校推薦型選抜 A、C）では、環境科学を学ぶ上で必要となる基礎学力に加え、自然環境への関心、学ぶ意欲、主体性など、本学科への適応性を評価します。このため、大学入学共通テスト（国語（※現代文のみ）・地歴公民・数学・理科・英語・情報）と個別面接（口頭試問を含む）を課します。

環境科学部環境政策・計画学科

環境政策・計画学科では、環境と調和した社会を形成するために、社会を形成している企業、政府、市民の行動を環境調和型に変革していく、豊かなコミュニケーション力および議論による問題解決力を身につけた人材を養成します。この教育目標を達成するために、次のような学生を求めます。

1. 求める学生像
① 人間社会と自然環境の広い範囲にわたって関心を有する人（興味・関心・意欲） ② 環境政策や環境計画を学ぶ上で必要な国語・数学・英語・理科・地歴公民・情報の基礎学力を有する人（知識・理解） ③ 見出された問題の解決に向けて、論理的に思考できる基礎力を有するとともに、グループワーク等における討議の場に参加でき、与えられた課題に対して論理的に議論でき、リーダーシップを発揮できる素養を有する人（思考力・判断力・主体性）
2. 入学者選抜の基本方針
環境政策・計画学科の入学試験では、高等学校までの教育課程を尊重し、基礎学力（知識・理解）と思考力・判断力・主体性を重視します。さらに、高校教育や日常生活によって培われた、興味・関心・意欲についても評価します。このため、一般選抜（前期日程と後期日程）と特別選抜を実施します。
3. 選抜方法
【一般選抜（前期日程）】 一般選抜（前期日程）では、確かな基礎学力（知識・理解）に加え、思考力・判断力を評価します。このため、大学入学共通テスト（国語・数学・英語・理科・地歴公民・情報）と個別学力試験（英語あるいは数学）を課します。また、興味・関心・意欲・主体性を評価するために志望理由書等を参考資料とします。
【一般選抜（後期日程）】 一般選抜（後期日程）では、確かな基礎学力（知識・理解）に加え、思考力・判断力と興味・関心・意欲を評価します。このため、大学入学共通テスト（国語・数学・英語・理科・地歴公民・情報）と個別学力試験（小論文）を課します。また、興味・関心・意欲・主体性を評価するために志望理由書等を参考資料とします。
【特別選抜（学校推薦型選抜）】 特別選抜（学校推薦型選抜 A、C）では、確かな基礎学力（知識・理解）に加え、興味・関心・意欲と思考力・判断力・主体性を評価します。このため、大学入学共通テスト（国語・数学・英語・理科・地歴公民・情報）と個別面接（口頭試問を含む）を課します。

環境科学部環境建築デザイン学科

環境建築デザイン学科では、持続可能な社会の建設のために、建築学を基礎に、建築を巡る環境や地域が抱える問題を発見、理解し、解決する能力を有する人材を育成します。この教育目標を達成するために、次のような学生を求めます。

1. 求める学生像
① 高度な専門知識を身につけるために必要な数学、理科、英語、国語、地理歴史・公民・情報の基礎学力を有する人（知識・理解） ② 環境建築デザインや地域社会の創造に強い関心を持ち、自ら学ぼうとする意欲を持つ人（関心・意欲） ③ 都市、地域、景観、防災、資源、エネルギー、世界規模の問題まで広範な関心を持ち、人と協調する力を有する人（協働性） ④ 見出された問題に対して論理的に思考し、その解決に向けて創造する基礎力を有する人（思考力・判断力・表現力）
2. 入学者選抜の基本方針
環境建築デザイン学科の入学試験では、高等学校までの教育課程を尊重し、基礎学力（知識・理解）を重視します。さらに、高校教育や日常生活によって培われた関心・意欲、協働性、思考力・判断力・表現力についても評価します。このため、一般選抜（前期日程・後期日程）と特別選抜（学校推薦型選抜 A、C）を実施し、それぞれ大学入学共通テスト、個別学力試験、造形実技試験、個別面接（口頭試問を含む）の中から複合的に課します。
3. 選抜方法
【一般選抜（前期日程）】 一般選抜（前期日程）では確かな基礎学力（知識・理解）と思考力・判断力を評価します。このため大学入学共通テスト（国語・数学・英語・理科・地歴公民・情報）と個別学力試験（数学）を課します。また、主体性等を評価するために志望理由書等を参考資料とします。
【一般選抜（後期日程）】 一般選抜（後期日程）では確かな基礎学力（知識・理解）に加え、思考力・判断力・表現力を評価します。このため大学入学共通テスト（国語・数学・英語・理科・地歴公民・情報）と造形実技試験を課します。また、主体性等を評価するために志望理由書等を参考資料とします。
【特別選抜（学校推薦型選抜）】 特別選抜（学校推薦型選抜 A）では、確かな基礎学力（知識・理解）に加え、関心・意欲、協働性を評価します。このため大学入学共通テスト（国語・数学・英語・理科・地歴公民・情報）と個別面接（口頭試問を含む）を課します。 特別選抜（学校推薦型選抜 C）では、関心・意欲、協働性、思考力・表現力を総合的に評価します。このため個別面接（口頭試問、プレゼンテーションを含む）を課します。

環境科学部生物資源管理学科

生物資源管理学科では、動植物の生産や病害虫からの保護、土壌・水資源の保全と活用、生物機能を利用した物質生産や環境改善など、農林水産業に関わる生物資源の管理と活用に関する基本的な知識と技術を有する人材を養成します。この教育目標を達成するために、次のような学生を求めます。

1. 求める学生像
① 高度な専門的知識を身につけるために必要な理科、数学、外国語等の基礎学力を有する人（知識・理解） ② 農林水産業や地域環境に強い関心を持ち、自ら学ぼうとする意欲を持つ人（関心・意欲） ③ 地域社会から世界規模の問題まで広範な関心を持ち、人と協力してそれらの問題を解決する力を有する人（関心・協働性） ④ 見出された問題の解決に向けて論理的に思考できる基礎力を有する人（思考力・判断力）
2. 入学者選抜の基本方針
生物資源管理学科の入学試験では、高等学校までの教育課程を尊重し、基礎学力（知識・理解）を重視します。さらに、高校教育や日常生活によって培われた思考力・判断力、関心・意欲、協働性についても評価します。このため、一般選抜（前期日程、後期日程）と特別選抜を実施し、それぞれ大学入学共通テスト、グループ面接、個別面接（口頭試問を含む）の中から2つを組み合わせる課します。
3. 選抜方法
【一般選抜（前期日程・後期日程）】 一般選抜では、確かな基礎学力（知識・理解）と思考力・判断力を重視します。このため、大学入学共通テスト（国語・数学・英語・理科・地歴公民（※前期日程のみ）・情報）とグループ面接を課します。また、生物資源管理学科で学ぶことに対する関心・意欲を評価するために志望理由書等を参考資料とします。
【特別選抜（学校推薦型選抜）】 特別選抜（学校推薦型選抜 A）では、確かな基礎学力（知識・理解）に加え、関心・意欲、思考力・判断力、協働性を評価します。このため、大学入学共通テスト（数学・情報・英語・理科）と個別面接（口頭試問を含む）を課します。

工学部材料化学科

材料化学科は、環境と調和した持続可能な人間社会の構築を目指し、科学技術に裏打ちされた材料の進歩に貢献できる、研究者・技術者の養成を目指しています。そのため本学科では、学問の基礎の理解と実験や演習などの実践を重視し、無機から有機までの幅広い物質、新エネルギー材料や環境材料などの様々な用途について、基礎から応用にわたる多面的な教育・研究を行い、“モノづくり”や新材料に興味を持ち、自己の能力向上に努める人材の育成を行います。この教育目標を達成するために、次のような学生を求めます。

1. 求める学生像

- ① 無機から有機までの幅広い物質、新エネルギー材料や環境材料などの様々な領域に強い関心と学びに対する意欲があり、自らの明確な目標設定を継続して行える素養を有する人（関心・意欲）
- ② 数学、理科（物理と化学）、国語、英語、地理歴史・公民、情報の科目に関して、材料に関する研究者・技術者となるための専門的内容と判断力の修得に必要な高等学校理系卒業レベルの学力を有する人（知識・理解）
- ③ 今までに得た知識・教養・経験を組み合わせ考える力（応用力）を持ち、また材料開発や新たな現象を類推する力（創造力）の素地があり、科学に対する思考を深めて適切に判断できる能力を伸ばす素養を有する人（思考力・判断力）
- ④ 問題解決のために、積極的に討議の場に参加でき、与えられた課題に対して論理的に相手を説得でき、リーダーシップを発揮する素養を有する人（積極性・論理的説得力・リーダーシップ力）
- ⑤ 主体的に他の人と協働して課題解決に向けた取り組みができ、得られた成果あるいは自分の考えについて自らの言葉で的確に表現し、相手に伝える能力を伸ばす素養を有する人（主体性・協働力・表現力）

2. 入学者選抜の基本方針

材料化学科の入学試験では、高等学校までの教育課程を尊重し、基礎学力（知識・理解）を重視します。さらに、高等学校教育や日常生活によって培われた関心・意欲・思考力・判断力・積極性・論理的説得力・主体性・協働力・リーダーシップ力・表現力についても評価します。このため、一般選抜（前期日程・後期日程）と特別選抜（学校推薦型選抜 A、B、C）を実施し、それぞれ大学入学共通テスト、個別学力試験、グループ討論、個別面接（口頭試問を含む）のいくつかを組み合わせた入学試験を課します。

3. 選抜方法

【一般選抜（前期日程・後期日程）】

一般選抜では、確かな基礎学力（知識・理解）と思考力・判断力・積極性・論理的説得力・主体性・協働力・リーダーシップ力・表現力を重視します。このため、大学入学共通テスト [国語・数学・英語・理科（物理、化学）・地歴公民・情報] と個別学力試験 [数学] に加え、グループ討論を課します。また、主体性等を評価するために志望理由書等を参考資料とします。

【特別選抜（学校推薦型選抜）】

特別選抜（学校推薦型選抜 A、B、C）では、確かな基礎学力（知識・理解）に加え、関心・意欲、主体性・協働力、思考力・判断力・表現力を評価します。このため、大学入学共通テストと個別面接（口頭試問を含む）を課します。大学入学共通テストでは、特別選抜（学校推薦型選抜 A、C）で国語・数学・英語・理科（物理、化学）・地歴公民・情報を、特別選抜（学校推薦型選抜 B）で国語・数学・英語・理科（物理、化学）・情報をそれぞれ課します。

工学部機械システム工学科

機械システム工学科は、機械工学の基礎と体系的なセンスを備え、高機能な機械を設計・開発でき、柔軟な発想能力の備わった技術者の養成を目指しています。そのために、機械工学の基幹となる熱力学、流体力学、材料力学、機械力学に、制御工学、情報処理基礎、メカトロニクス、生産工学などの幅広い科目を加え、さらに多くの演習や実験を取り入れたカリキュラムによって、基礎から応用にわたる多面的な教育を行います。この教育目標を達成するために、次のような学生を求めます。

1. 求める学生像

- ① 機械とそのシステム、力学、ものづくり、ならびにこれらと自然環境、社会、人間との関わりに強い関心を持ち、自己の能力向上に対する意欲を持つ人（関心・意欲）
- ② 機械システム工学を学び活用し、様々な人と協力して社会に貢献することに主体的に取り組もうという意欲のある人（主体性・協働力）
- ③ 機械システム工学を学び、この分野の課題に取り組む能力を身につけるために必要となる、高等学校の数学および物理の知識を備え、その知識に基づいた理解力と思考力のある人（知識・理解、理解力・思考力）
- ④ 基礎学力として、高等学校で履修する国語、英語、地歴公民、化学、情報において、高等学校理系卒業レベルの学力を備えている人（知識・理解）
- ⑤ 知識・教養・経験を組合せて適切に思考・判断して、その結果や自分の考えを相手に伝えることができる素養を有する人（思考力・判断力・表現力）

2. 入学者選抜の基本方針

機械システム工学科の入学試験では、高等学校までの教育課程を尊重し、確かな基礎学力（知識・理解）を重視します。さらに、高等学校教育や日常生活によって培われた思考力・判断力・表現力、関心・意欲、主体性・協働力についても評価します。このため、一般選抜（前期日程・後期日程）と特別選抜（学校推薦型選抜 A、B、C）を実施し、それぞれ大学入学共通テストと個別学力試験、大学入学共通テストと個別面接（口頭試問を含む）を課します。

3. 選抜方法

【一般選抜（前期日程・後期日程）】

一般選抜では、幅広い分野の確かな基礎学力（知識・理解）を重視します。また、これに加えて思考力・判断力、主体性・協働力も評価します。このため、大学入学共通テスト [国語・数学・英語・理科（物理、化学）・地歴公民・情報]、個別学力試験[数学]を課します。また、主体性等を評価するために志望理由書等を参考資料とします。

【特別選抜（学校推薦型選抜）】

特別選抜（学校推薦型選抜 A、B、C）では、確かな基礎学力（知識・理解）に加え、関心・意欲、思考力・判断力・表現力、主体性・協働力を評価します。このため、大学入学共通テストと個別面接（口頭試問を含む）を課します。まず、大学入学共通テストでは、特別選抜（学校推薦型選抜 A、C）で国語・数学・英語・理科（物理、化学）・地歴公民・情報を、特別選抜（学校推薦型選抜 B）で国語・数学・英語・理科（物理）・情報をそれぞれ課します。

工学部電子システム工学科

電子システム工学科は、電気・電子・情報工学分野で基礎から応用まで幅広い知識と高度な技術をもつとともに、豊かな人間性とコミュニケーション力および問題解決力を身につけた、地域はもとより世界に通用する創造力豊かで自律した技術者の育成を目指しています。この教育目標を達成するために、次のような学生を求めます。

1. 求める学生像

- ① 国語、地理歴史・公民、数学、理科（物理と化学）、英語・情報の科目に関して、電気・電子・情報工学分野の技術者に要求される専門知識・能力および教養を身につけるために必要となる、高等学校理系卒業レベルの基礎学力を有する人（知識・理解）
- ② 電気・電子・情報工学分野の課題を設定・遂行・解決する能力を身につけるために必要となる、高等学校理系科目（数学と物理）の思考力を有する人（思考力・判断力）
- ③ 自律した技術者に求められる情報伝達・発信力と協働力を身につけるために必要となる、基礎的なコミュニケーション力・態度を有する人（協働性・主体性）
- ④ 電気・電子・情報工学分野に夢や魅力を感じ、基礎から応用まで幅広い素養を身につけて積極的に活躍していきたい人、知的好奇心をもって常に新しいことに挑戦し、専門分野を通して積極的に社会に貢献していきたい人（関心・意欲）

2. 入学者選抜の基本方針

電子システム工学科の入学試験では、高等学校までの教育課程を尊重し、基礎学力（知識・理解）を重視します。さらに、高等学校教育や日常生活で培われた「思考力・判断力」と「協働性・主体性、関心・意欲」のどちらかについても評価します。このため、一般選抜（前期日程、後期日程）と特別選抜（学校推薦型選抜 A、B、C）を実施し、大学入学共通テストおよび個別学力試験と個別面接（口頭試問を含む）のどちらかを組み合わせた試験を課します。

3. 選抜方法

【一般選抜（前期日程・後期日程）】

一般選抜では、高等学校理系卒業レベルの確かな基礎学力（知識・理解）と数学および物理の深い思考力・判断力、および協働性・主体性を評価します。このため、大学入学共通テスト [国語・数学・英語・理科（物理、化学）・地歴公民・情報] と個別学力試験 [数学・理科（物理）（前期日程のみ）] を課します。また、主体性等を評価するために志望理由書等を参考資料とします。

【特別選抜（学校推薦型選抜）】

特別選抜（学校推薦型選抜 A、B、C）では、高等学校理系卒業レベルの確かな基礎学力（知識・理解）と協働性・主体性、関心・意欲を評価します。このため、高等学校等での学習内容にも考慮しながら、大学入学共通テスト [国語・数学・英語・理科（物理、化学）・地歴公民・情報] と個別面接（口頭試問を含む）を課します。

人間文化学部地域文化学科

地域文化学科では、日本、特に近江の歴史・文化・社会、およびアジアとの交流に強い関心を持ちながら自ら行動し、社会貢献の一環として学んだことを地域に還元し、科学的な目で地域を見つめてこれからの地域のありかたを探求する意欲を持ち、問題解決能力をもって独創的な発想ができる人材を養成します。この教育目標を達成するために、次のような学生を求めます。

1. 求める学生像

- ① 地域社会の過去と現在の諸問題を学ぶために必要な基礎学力を有する人（知識・理解）
- ② 地域社会の諸問題について、学んだことをふまえて論理的に考え、判断する基礎力のある人（思考力・判断力）
- ③ 歴史・文化・社会に強い関心を持ち、自ら学ぶ強い意欲をもつ人（関心・意欲）
- ④ ローカルな問題からグローバルな問題まで広い関心を持ち、自らの考えを相手に伝え、多様な人々と交流できる人（表現力・協働性）

2. 入学者選抜の基本方針

地域文化学科の入学試験では、高等学校までの教育課程を尊重し、基礎学力（知識・理解）を重視します。さらに、高校教育や日常生活によって培われた思考力・判断力、関心・意欲、表現力、協働性についても評価します。このため、一般選抜（前期日程・後期日程）と特別選抜（学校推薦型選抜）を実施し、それぞれ、大学入学共通テスト、個別学力試験、個別面接（口頭試問を含む）を組み合わせる課します。

3. 選抜方法

【一般選抜（前期日程）】

一般選抜（前期日程）では確かな基礎学力（知識・理解）と思考力・判断力を重視します。このため、大学入学共通テスト（数学/理科/情報から1教科と国語・外国語・地歴公民）と個別学力試験（国語・英語）を課します。また、主体性等の評価に際しては、「求める学生像」をふまえて自ら記載した志望理由書等を参考資料とします。

【一般選抜（後期日程）】

一般選抜（後期日程）では、確かな基礎学力（知識・理解）に加え、思考力・判断力・表現力を評価します。このため、大学入学共通テスト（国語/数学/理科/情報から1教科と外国語・地歴公民）と個別学力試験として小論文を課します。また、主体性等の評価に際しては、「求める学生像」をふまえて自ら記載した志望理由書等を参考資料とします。

【特別選抜（学校推薦型選抜）】

特別選抜（学校推薦型選抜 A、C）では、確かな基礎学力（知識・理解）に加え、関心・意欲・協働性を評価します。このため、総合問題（英語、文系総合問題）と個別面接（口頭試問を含む）を課します。

人間文化学部生活デザイン学科

生活デザイン学科では、人間に身近な生活環境の問題を発見し、その解決策を考え、社会に活躍できる人の育成を目指しています。この教育理念に沿って、住居、道具、服飾、構想のデザインの理論と実践を学び、身近な生活環境を観察・分析して問題を発見し、その解決策を造形的・論理的に表現できる能力を身につけます。地域はもとより広く社会の発展に貢献できる人材の育成を教育目標に掲げ、この教育目標を達成するために、次のような学生を求めます。

1. 求める学生像
① 高度な専門知識を身につけるための基礎学力を持っている人（知識・理解） ② 柔軟かつ論理的に問題を解決する基礎力を持っている人（思考力・判断力） ③ 身近な生活環境に対する関心と観察力を持っている人（興味・関心、観察力） ④ 表現行為に興味を持ち主体的に創意工夫のできる人（表現力） ⑤ 積極的行動力を身につけるための基礎力を持っている人（行動力）
2. 入学者選抜の基本方針
生活デザイン学科の入学試験では、高等学校までの教育課程を尊重し、基礎学力（知識・理解）を重視します。さらに高校教育や日常生活によって培われた、思考力・判断力、興味・関心、観察力、表現力、行動力についても評価します。このため一般選抜（前期日程と後期日程）と特別選抜を実施し、大学入学共通テスト、個別学力試験、個別実技試験、個別面接（口頭試問を含む）を課します。
3. 選抜方法
【一般選抜（前期日程）】 一般選抜（前期日程）では、確かな基礎学力（知識・理解）と思考力・判断力を重視します。このため、大学入学共通テスト（国語・外国語・地歴公民と数学/理科/情報から2教科）と個別学力試験[英語・国語（近代以降の文章）]を課します。また、主体性等を評価するために志望理由書等を参考資料とします。
【一般選抜（後期日程）】 一般選抜（後期日程）では、確かな基礎学力（知識・理解）と観察力、表現力を重視します。このため、大学入学共通テスト（国語/数学/理科/地歴公民/情報から3教科と外国語）と個別実技試験（デッサン）を課します。また、主体性等を評価するために志望理由書等を参考資料とします。
【特別選抜（学校推薦型選抜）】 特別選抜（学校推薦型選抜 A、C）では、確かな基礎学力（知識・理解）と興味・関心、行動力を重視します。このため、大学入学共通テスト（国語/数学/理科/地歴公民/情報から3教科と外国語）と個別面接（口頭試問を含む）を課します。

人間文化学部生活栄養学科

生活栄養学科は、科学的根拠に基づいた適切な栄養管理・食生活が健康に寄与することを基盤として、人々の健康に貢献する人材の育成を目的としています。そのため本学科では、学問の基礎の理解と実験・実習を重視し、栄養学の基礎から応用、実践にわたる体系的、多面的な教育・研究を行っています。これにより、栄養学に関する専門知識・技術を有し、管理栄養士として医療、保健、福祉、健康、スポーツ、教育、研究などの分野で活躍する人材の育成を行います。さらには、卒業後に大学院等で学ぶことにより、高度な専門知識・技術を有し、将来、リーダーとして活躍する管理栄養士、教育者、研究者になることを期待しています。この教育目標を達成するために、次のような学生を求めます。

1. 求める学生像

- ① 生命科学および栄養学に基づいた食、栄養、運動、健康の関わりに強い関心を持ち、自己の能力向上に対する意欲ならびに将来、管理栄養士として社会貢献する意欲のある人（関心・意欲）
- ② 協働作業で自分の役割を理解し、積極的に実行することができる人（協働性）
- ③ 本学で生命科学および栄養学を学ぶために必要な基礎学力を有する人（知識・理解）
- ④ 今までに得た知識・教養・経験を組合せて論理的に思考を深め、その思考に基づいて適切に判断し、その結果や自分の考えを相手に伝える力を有する人（思考力・判断力・表現力）

2. 入学者選抜の基本方針

生活栄養学科の入学試験では、高等学校までの教育過程を尊重し、基礎学力（知識・理解）を重視します。さらに高校教育や日常生活によって培われた、関心・意欲、協働性、思考力・判断力・表現力についても評価します。このため一般選抜（前期日程と後期日程）と特別選抜（学校推薦型選抜 A、C）を実施し、それぞれ大学入学共通テストと個別学力試験、大学入学共通テストと個別面接を課します。

3. 選抜方法

【一般選抜（前期日程）】

大学入学共通テストでは6教科（国語・数学・英語・理科・地歴公民・情報）を課し、高等学校で身につける文科系・理科系にわたる基礎学力（知識・理解）を評価します。個別学力試験では、栄養学を学ぶうえで基盤となる化学と英語について、より深い「知識・理解」と「思考力・判断力」を評価します。また、主体性等を評価するために志望理由書等を参考資料とします。

【一般選抜（後期日程）】

大学入学共通テストでは6教科（国語・数学・英語・理科・地歴公民・情報）を課し、高等学校で身につける文科系・理科系にわたる基礎学力（知識・理解）を評価します。個別学力試験では、栄養学を学ぶうえで基盤となる化学について、より深い「知識・理解」と「思考力・判断力」を評価します。また、主体性等を評価するために志望理由書等を参考資料とします。

【特別選抜（学校推薦型選抜）】

特別選抜（学校推薦型選抜 A、C）では、大学入学共通テストでは6教科（国語・数学・英語・理科・地歴公民・情報）を課し、高等学校で身につける文科系・理科系にわたる基礎学力（知識・理解）を評価します。個別面接では、「関心・意欲」、「表現力」、「協働性」を合わせて評価します。

人間文化学部人間関係学科

人間関係学科では、人間関係を生涯にわたって発達・変化していくものとして柔軟に捉え、自身と共同体との関わりについて考え続けるための総合的教育を行っています。入学後には、人間関係への興味・関心を持ち、さまざまな環境における人間どうしのあり方を記述し、実践的にとらえ直すことが中心課題となります。この教育目標を達成するために、次のような学生を求めます。

1. 求める学生像

- ① さまざまな共同体で生じる問題に取り組むための基礎学力を有する人（知識・理解）
- ② 自他の体験を客観的に記述し、とらえ直す力を有する人（思考力・構成力）
- ③ さまざまな発達段階・環境における人と人との関わりに関心を持ち、自ら学ぶ強い意欲を有する人（関心・意欲）
- ④ 自分の考えや意見を表現し、相手に伝えるための基礎的な能力を有する人（読解力・表現力）

2. 入学者選抜の基本方針

人間関係学科の選抜試験では、高等学校までの教育課程を尊重し、基礎学力（知識・理解）を重視します。さらに、大学生活の中で人間関係のあり方を記述しとらえ直すための関心・意欲、思考力、表現力を選抜基準とします。このため、一般選抜（前期日程・後期日程）と特別選抜を実施し、それぞれ、大学入学共通テスト、個別学力試験、個別面接（口頭試問を含む）の中から2つを組み合わせて課します。

3. 選抜方法

【一般選抜（前期日程）】

一般選抜（前期日程）では、高等学校までの基礎学力（知識・理解）と思考力を重視します。このため、大学入学共通テスト（理科/地歴公民/情報から2教科・国語・数学・外国語）と個別学力試験[英語・国語（近代以降の文章）]を課します。また、主体性等を評価するために志望理由書等を参考資料とします。

【一般選抜（後期日程）】

一般選抜（後期日程）では、高等学校までの基礎学力（知識・理解）と表現力、特にことばを介した構成力と読解力を重視します。このため、大学入学共通テスト（国語/数学/理科/地歴公民/情報から2教科・外国語）と個別学力試験（小論文）を課します。また、主体性等を評価するために志望理由書等を参考資料とします。

【特別選抜（学校推薦型選抜）】

特別選抜（学校推薦型選抜 A）では、高等学校までの教育課程とともに、思考力と判断力、および柔軟な興味と関心を持つ力を重視し、総合問題（英語、文系総合問題）と個別面接（口頭試問を含む）を課します。

人間文化学部国際コミュニケーション学科

国際コミュニケーション学科は、グローバル化する現代社会において、広く活躍できる見識とコミュニケーション能力を備えた人材の育成を目標としています。この教育目標を達成するために、次のような学生を求めます。

1. 求める学生像
① 英語もしくは他の外国語（ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語など）について高い運用能力を身につけるために必要な語学力を有する人（知識・理解、技術・技能） ② 幅広い知識や教養の基盤となる国語、地理歴史または公民、数学、理科、情報についての基礎学力を有する人（知識・理解） ③ 自国および諸外国の社会・文化・歴史等への強い関心と学習への意欲を有する人（関心・意欲） ④ 自分の考えや意見を積極的に提示し、相手の理解を得るための基礎的な能力を有している人（表現力） ⑤ グローバル化によって発生する課題について、人々との交流を通して、自らの見解を形成しようとする姿勢を有する人（協働性）
2. 入学者選抜の基本方針
国際コミュニケーション学科の入学試験では、基礎学力（知識・理解）を重視するとともに、外国語（特に英語）の運用能力（語学力）を重要な評価ポイントとします。さらに、関心・意欲、表現力、協働性についても評価します。このため、一般選抜（前期日程・後期日程）と特別選抜を実施し、それぞれ、大学入学共通テスト、個別学力試験、総合問題、個別面接（口頭試問を含む）を組み合わせる課します。
3. 選抜方法
【一般選抜（前期日程）】 一般選抜（前期日程）では、確かな基礎学力（知識・理解）と思考力・判断力を重視します。このため、大学入学共通テスト（数学/理科/情報から2教科・国語・外国語・地歴公民）と個別学力試験 [英語・国語（近代以降の文章）] を課します。また、主体性等を評価するために志望理由書等を参考資料とします。
【一般選抜（後期日程）】 一般選抜（後期日程）では、確かな基礎学力（知識・理解）と思考力・判断力を重視します。このため、大学入学共通テスト（国語・英語・地歴公民）と個別学力試験（小論文）を課します。また、主体性等を評価するために志望理由書等を参考資料とします。
【特別選抜（学校推薦型選抜）】 特別選抜（学校推薦型選抜 A）では、確かな基礎学力（知識・理解）に加え、関心・意欲ならびに表現力と協働性を重視します。このため、総合問題（英語・文系総合問題）と個別面接（口頭試問を含む）を課します。

人間看護学部人間看護学科

人間看護学部では、多面的な視野に立って人間と健康に関わる問題を解決し、地域に貢献できる看護職者を育成します。この教育目標を達成するために、次のような学生を求めます。

1. 求める学生像
① 人間に対する尊厳と関心をもち、コミュニケーション力を有する人（表現力・協調性） ② 生命、医療、看護に対して強い関心をもち、自ら学ぼうとする意欲を有する人（意欲・主体性） ③ 高度な専門的知識を身につけるために必要な確かな基礎学力を有する人（知識・理解） ④ 課題解決に向けた論理的な思考を有する人（思考力・判断力） ⑤ 地域社会から国際社会の問題まで広範な関心をもち、人と協働する力を有する人（関心・協働性）
2. 入学者選抜の基本方針
人間看護学部の入学試験では、高等学校までの教育課程を尊重し、基礎学力（知識・理解）を重視します。さらに、高等学校での教育や日常生活により培われた意欲・主体性、表現力・協調性、関心・協働性、思考力・判断力についても評価します。このため、一般選抜（前期日程と後期日程）と特別選抜（学校推薦型選抜）を実施し、それぞれ、大学入学共通テスト、個別学力試験、グループ面接の中から2つを組み合わせる課します。また、現に看護職である人や看護学生を対象に第3年次編入学試験を実施します。
3. 選抜方法
【一般選抜（前期日程）】 一般選抜（前期日程）では、確かな基礎学力（知識・理解）と思考力・判断力を評価するために、大学入学共通テスト（国語・地歴公民・数学・理科・外国語・情報）とグループ面接を課します。また、意欲・主体性、関心・協働性を評価するために志望理由書等を参考資料とします。
【一般選抜（後期日程）】 一般選抜（後期日程）では、確かな基礎学力（知識・理解）に加え、意欲・主体性、表現力・協調性、思考力・判断力、関心・協働性を評価します。このため、大学入学共通テスト（国語・地歴公民・数学・理科・外国語・情報）に加え、個別入学試験としてグループ面接を課します。また、主体性等を評価するために志望理由書等を参考資料とします。
【特別選抜（学校推薦型選抜）】 特別選抜（学校推薦型選抜 A、D）では、確かな基礎学力（知識・理解）に加え、意欲・主体性、表現力・協調性、関心・協働性、思考力・判断力を評価します。このため、総合問題（英語、文系総合問題）に加え、グループ面接を課します。

帰国生徒特別選抜 ・ 私費外国人留学生特別選抜 学生受入方針

滋賀県立大学は、地域に根ざしながら、世界に開かれた大学となることを目指して、多様な学生の受け入れを推進しています。

1. 求める学生像
<ul style="list-style-type: none">① 各学科の専門領域を学ぶために必要な基礎学力、さらに幅広い教養の基盤となる基礎学力を有する人（知識・理解、技術・技能）② 各学科の専門領域への強い関心と学習への意欲を有する人（関心・意欲）③ 今までの学習や体験に基づいて自分の考えや意見を積極的に提示し、相手の理解を得るための基礎的な能力を有している人（主体性・表現力）④ 地域社会や国際社会で、人々と協働して問題を見つけ解決するために必要な基礎的なコミュニケーション能力を有する人（思考力・判断力・協働性）
2. 入学者選抜の基本方針
<p>帰国生徒特別選抜 大学入学共通テスト、総合問題、英語、調査書、面接など、各学科の定める入学者選抜方法により、「求める学生像」との合致性を総合的に判断して選抜します。</p> <p>私費外国人留学生特別選抜 日本留学試験（独立行政法人日本学生支援機構により実施）、個別学力試験、面接など、各学科の定める入学者選抜方法により、「求める学生像」との合致性を総合的に判断して選抜します。</p>

Ⅱ 入学定員と募集人員(令和7年度入学者選抜)

学 部 名	入学定員	募 集 人 員								
		一 般 選 抜		特 別 選 抜						
		前期日程	後期日程	学校推薦型選抜				帰国生徒	私費外国人留学生	
A	B			C	D					
環 境 科 学 部	180	82	55	36	—	7	—	若干名	若干名	
環境生態学科	30	11	10	6	—	3	—	若干名	若干名	
環境政策・計画学科	40	16	12	8	—	4	—	若干名	若干名	
環境建築デザイン学科	50	25	15	10	—	若干名	—	若干名	若干名	
生物資源管理学科	60	30	18	12	—	—	—	若干名	若干名	
工 学 部	150	70	50	30	若干名	若干名	—	若干名	若干名	
材料化学科	50	20	20	10	若干名	若干名	—	若干名	若干名	
機械システム工学科	50	25	15	10	若干名	若干名	—	若干名	若干名	
電子システム工学科	50	25	15	10	若干名	若干名	—	若干名	若干名	
人間文化学部	200	97	59	40	—	4	—	若干名	若干名	
地域文化学科	60	30	18	12	—	若干名	—	若干名	若干名	
生活デザイン学科	30	12	8	6	—	4	—	若干名	若干名	
生活栄養学科	30	15	9	6	—	若干名	—	若干名	若干名	
人間関係学科	30	15	9	6	—	—	—	若干名	若干名	
国際コミュニケーション学科	50	25	15	10	—	—	—	若干名	若干名	
人間看護学部	70	30	10	20	—	—	10	若干名	—	
人間看護学科										
計	600	279	174	126	若干名	11	10	若干名	若干名	

- (注) 1 一般選抜の「前期日程」および「後期日程」は、分離・分割方式の区分によります。
- 2 「学校推薦型選抜A」は、高等学校を令和6年度中に卒業または卒業見込みの者を対象とします。
- 3 「学校推薦型選抜B」は、高等学校の職業に関する学科若しくは総合学科を令和6年度中に卒業または卒業見込みの者を対象とします。ただし、工業に関する科目を20単位以上取得した者または取得見込みの者に限ります。
- 4 「学校推薦型選抜C」は、高等学校を令和6年度中に卒業または卒業見込みの者を対象とし、「学校推薦型選抜A」および「学校推薦型選抜B」の出願資格に付されている地域等の条件を付さないものとします。
- 5 「学校推薦型選抜D」は、高等学校を令和6年度中に卒業または卒業見込みの者を対象とし、看護学に深い関心を持ち、本学卒業後、滋賀県内の病院または特定施設において看護職(看護師、保健師、助産師)として6年以上就業する強い情熱と意欲を有する者(養護教諭は除く)とします。
「学校推薦型選抜A」および「学校推薦型選抜B」の出願資格に付されている地域等の条件を付さないものとします。
- 6 「学校推薦型選抜A」、「学校推薦型選抜B」、「学校推薦型選抜C」、「学校推薦型選抜D」は、他の学校推薦型選抜と併願できません。
- 7 特別選抜の合格者数は、試験結果によって、募集人員を下回る場合があります。
- 8 環境科学部(環境生態学科、環境政策・計画学科)は、学校推薦型選抜A、学校推薦型選抜Cの募集区分のそれぞれにおいて、合格者が募集人員に満たない場合は、学科の学校推薦型選抜募集人員の総数に達するまで、他の区分から合格者を決定する場合があります。

Ⅲ 帰国生徒特別選抜

1 出願資格

日本国籍を有する者および日本国の永住許可を得ている者、その他これに準ずる者であって、保護者の海外勤務等の事情により外国の学校教育を受けている者のうち、以下の各号のいずれかに該当する者です。

ただし、環境科学部環境生態学科、環境科学部環境政策・計画学科、環境科学部環境建築デザイン学科、環境科学部生物資源管理学科、工学部材料化学科、工学部機械システム工学科、工学部電子システム工学科、人間文化学部生活デザイン学科、人間文化学部生活栄養学科を志願する者については、令和7年度大学入学共通テストのうち、本学の指定する教科・科目を登録し、受理された者で、日本国籍を有する者および日本国の永住許可を得ている者、その他これに準ずる者であって、保護者の海外勤務等の事情により外国の学校教育を受けている者のうち、以下の各号のいずれかに該当する者としてします。

- (1) 外国の教育制度に基づく教育機関において、最終学年を含め2学年以上継続して学校教育を受け、12年の課程(日本における通常の課程による学校教育の期間を含む。)を令和5年4月1日から令和7年3月31日までに卒業(修了)した者および卒業(修了)見込みの者
- (2) 外国の教育制度に基づく教育機関において、2年以上継続して学校教育を受け、12年の課程(日本における通常の課程による学校教育の期間を含む。)を中途退学し、引き続き日本の高等学校の第3学年に編入学を認められた者で、令和7年3月卒業見込みの者
- (3) 外国において、スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局から国際バカロレアの資格証書を令和4年4月1日以降に授与された者
- (4) ドイツ連邦共和国の各州において、大学入学資格として認められているアビトゥア資格を令和5年4月1日以降に取得した者
- (5) フランス共和国において、大学入学資格として認められているバカロレア資格を令和5年4月1日以降に授与された者
- (6) グレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国において、大学入学資格として認められているGCEAレベル資格を令和5年4月1日以降に授与された者

(注) (1)および(2)において、外国に設置された教育機関であっても、日本の学校教育法に準拠した教育を施している学校に在学した者については、その期間は、外国において学校教育を受けたものとはみなされません。

2 選抜方法

学部・学科名	選抜方法
人間文化学部 地域文化学科 人間関係学科 国際コミュニケーション学科 人間看護学部 人間看護学科	大学入学共通テストを免除し、志望する各学科において履修上必要と考えられる基礎学力を測る総合問題および評定平均値を含む調査書などに基づく面接の結果を総合して選抜します。
環境科学部 環境生態学科 環境政策・計画学科 環境建築デザイン学科 生物資源管理学科 工学部 材料化学科 機械システム工学科 電子システム工学科 人間文化学部 生活デザイン学科 生活栄養学科	大学入学共通テストを課し、大学入学共通テストの成績および調査書などに基づく面接の結果を総合して選抜します。

(1) 試験科目・面接の方法・試験時間・配点等

試験科目・面接の方法・試験時間・配点等は、24～30 ページに記載のとおりです。

(2) 試験科目等の内容

- ①総合問題は、英語力を問う設問を含みます。
 ②環境科学部（全学科）、工学部（全学科）、人間文化学部（全学科）においては、個別面接時に志望する学科のアドミッション・ポリシーに沿った口頭試問を実施します。

(3) 選抜期日・時間割**①大学入学共通テストを課さない学部・学科**

ア 選抜期日 令和6年11月23日（土）

イ 時間割

学部・学科	令和6年11月23日（土）						
	9:00	9:30	11:30	12:45	13:00	17:00	
人間文化学部 地域文化学科 人間関係学科 国際コミュニケーション学科		入室	総合問題	昼食・休憩	面接控室に集合	面接	

学部・学科	令和6年11月23日（土）						
	9:30	10:00	11:30	12:45	13:00	17:00	
人間看護学部 人間看護学科		入室	総合問題	昼食・休憩	面接控室に集合	面接	

②大学入学共通テストを課す学部・学科

ア 選抜期日 令和6年11月24日（日）

イ 時間割

学部・学科	令和6年11月24日（日）							
	9:00	9:15	9:30	12:00	13:30	13:45	14:00	16:30
環境科学部 環境生態学科／環境政策・計画学科／環境建築デザイン学科／生物資源管理学科 工学部 材料化学科／機械システム工学科／電子システム工学科 人間文化学部 生活デザイン学科／生活栄養学科	受験者控室に集合	面接控室に入室	面接※		受験者控室に集合	面接控室に入室	面接※	

※面接時間の午前・午後の割り当ては受験票に同封する受験案内でお知らせします。

(4) 試験会場

滋賀県立大学（〒522-8533 彦根市八坂町 2500）〈案内図は裏表紙中面に記載〉

J R 南彦根駅西口からバスで県立大学行き約 15 分

3 出願手続等

(1) 出願方法

インターネット出願 (①「インターネットによる出願登録」および②「出願書類の提出」) とします。

34～37 ページに記載の「インターネット出願の流れ」をよく読み、手続きを行って下さい。
※インターネットによる出願が困難で、紙媒体での出願を希望される場合は、滋賀県立大学教務課入試室 (TEL:0749-28-8217・8243) に相談してください。

(2) 出願期間および出願書類提出期限

インターネット出願登録の後、出願期間内に必ず届くように書類を書留速達郵便で郵送してください。

①「インターネットによる出願登録」期間

令和6年10月25日(金) 9時から11月8日(金) 17時まで

※最終日 17 時以降に出願登録は出来ませんので、余裕をもって登録手続きをしてください。

②「出願書類の提出」期間

令和6年11月1日(金) から11月8日(金) ※最終日消印有効

※持参による場合の受付時間は、土日祝日を除く平日の午前9時から午後5時までとします。

(3) 入学検定料

本学の「インターネット出願サイト」より出願し、志願者登録後、入学検定料決済を行って下さい。

検定料の支払いは、コンビニエンスストア、クレジットカード、郵便局、銀行ATM (ページー対応)、ネットバンキングのいずれかの方法で行ってください。支払期限はインターネット出願登録を完了した日を含む4日以内の23時59分までです。ただし、インターネット出願登録期限の17時以降の支払いはできません。それぞれの支払い方法に関する詳細は、「インターネット出願サイト」をご確認ください。

支払期間 令和6年10月25日(金) 9時から11月8日(金) 17時まで

入学検定料 17,000円

※決済額は入学検定料と受験票郵送料 (110 円) と振込手数料を合わせた金額となります。

※大規模災害により入学検定料免除の措置を希望される方は、事前に申請が必要となりますので、滋賀県立大学教務課入試室に (TEL:0749-28-8217・8243) に相談してください。

※検定料の返還について

受領した入学検定料は、理由のいかんを問わず返還しません。ただし、次の(ア)または(イ)に該当する者は、入学検定料の一部または全部を返還しますので、滋賀県立大学教務課入試室にその旨を申し出て、所定の返還手続きをしてください。

(ア) 入学検定料を納付した者で、出願期間内に書類を提出しなかった者

(イ) 入学検定料を誤って二重に納付した者

(4) 出願書類

志願者は「出願書類提出用封筒」に次の書類をとりそろえて提出してください。

* 出願書類提出用封筒

本学の「インターネット出願サイト (<https://e-apply.jp/ds/usp/>)」より出願し、入学検定料の支払いを行った後、マイページから「出願書類提出用宛名シート」を出力して、市販の角形2号封筒(24cm×33.2cm)に貼り付けて作成して下さい。

(出願書類を持参される場合も必ず貼り付けて作成して下さい。)

出 願 書 類		作成方法等
A 2 票	入学志願票	①本学の「インターネット出願サイト」でマイページ登録後に、出願登録を行って下さい。写真は、インターネット出願サイトにて出願3カ月以内に正面向上半身、無帽で撮影した鮮明な写真をアップロードして下さい。 ※入学検定料支払いに進む前に、記載内容に誤りがないか必ず確認して下さい。 ②出願内容に誤りがないことを確認した後、申込登録を完了し、入学検定料の支払いへ進んでください。 支払い方法は、「支払い選択」画面で確認してください。 ③入学検定料支払い後、マイページに表示される「志願票印刷」ボタンがクリック可能になりますので、A4サイズの用紙に片面で印刷して下さい。
A 2-2 票	身上調書	本学所定の様式により作成して下さい。 作成にあたっては、手書きまたはPC等による入力のどちらでも構いません。 (様式は、「インターネット出願サイト」のメニューバーの「募集要項・必要書類のダウンロード」からダウンロードし、A4サイズで印刷して下さい。)
B 票	志望理由書	
卒業(修了)証明書 および成績証明書等		外国において、学校教育における12年の課程を修了した者は、最終出身学校の卒業(修了)証明書または卒業(修了)見込証明書および成績証明書 国際バカロレア資格取得者、アビトゥア資格取得者、バカロレア資格(フランス共和国)取得者、GCEA レベル資格取得者については、当該試験の資格証書の写しおよび成績証明書
調査書		日本の高等学校に在籍したことがある者または在学中の者は、文部科学省の所定の様式により高等学校長が作成し厳封したもの
志願者および保護者の 海外在留証明書		志願者が海外に在留したことを証明する書類(志願者のパスポートの写し)および保護者が海外に在留したことを証明する書類(保護者の所属長が証明した海外勤務証明書(在留期間、在留地等が記入されているもの)等)

注1) 「出願書類提出用宛名シート」およびA2票「入学志願票」は、出願内容登録後、入学検定料の支払いを行った後にダウンロード可能となります。

注2) 「出願書類提出用宛名シート」およびA2票「入学志願票」は、カラー印刷が望ましいですが、できない場合はモノクロ印刷でも可とします。

注3) 英語以外の外国語で書かれた書類については、日本語訳もしくは英語訳を添付してください。

(5) 願書提出先および入試に関する問合せ先

〒522-8533 滋賀県彦根市八坂町 2500
滋賀県立大学 入学試験実施本部 (事務局 教務課 入試室)
(TEL: 0749-28-8217・8243)

(6) インターネット出願サイトの操作方法に関する問合せ先

「学び・教育」出願・申込サービス サポートセンター (運用会社: 株式会社ディスコ)
(TEL: 0120-20-2079)

(7) 障がい等がある入学志願者との事前相談

障がい等のある入学志願者で、受験上および修学上の配慮を希望する場合は、できるだけ早い時期（令和6年10月11日（金）まで）に滋賀県立大学教務課 入試室（TEL:0749-28-8217・8243 E-mail:nyushi@office.usp.ac.jp）まで連絡し、相談してください。

締切後に、不慮の事故等のため、受験上および修学上の配慮を希望する場合は、速やかに上記連絡先まで連絡し、相談してください。

4 合格発表

(1) 発表期日

1) 大学入学共通テストを課さない学部・学科

令和6年12月10日（火）午前9時

2) 大学入学共通テストを課す学部・学科

令和7年 2月12日（水）午前9時

本学ウェブサイト合格者の受験番号を掲載するとともに、合格者には合格通知書を郵送します。（大学構内での合格者受験番号の掲示は行いません。）なお、電話等による問い合わせには応じません。

(2) 合格しなかった者の取扱い

選抜の結果、合格しなかった者は、本学の「令和7年度学生募集要項【一般選抜】」に定められた出願手続をとって、前期日程試験および後期日程試験を受験することができます。

ただし、本学の指定する大学入学共通テストの教科・科目を受験する必要があります。

なお、大学入学共通テストを課す学部・学科を受験した者は、合格発表に先立って一般選抜の出願手続をする必要があります。

5 注意事項

(1) 出願手続上の注意事項

- ① 大学入学共通テストを課す学部・学科を志願する者は、出願にあたって本学が指定している「大学入学共通テスト利用教科・科目」（24～30 ページ）を登録しているかを必ず確認してください。
- ② 必要な書類がすべてそろっていない場合は受け付けないので、出願の際には十分確認してください。また、郵送の場合には所要日数を十分に考慮して発送してください。
- ③ 入学を許可した後であっても、出願書類の記載と相違する事実が発見された場合には、入学を取り消すことがあります。
- ④ 出願受付後の出願事項の変更は認めません。ただし、氏名、住所、電話番号に変更があった場合には、滋賀県立大学入学試験実施本部まで連絡してください。
- ⑤ 試験日の3日前までに受験票が届かないときは、滋賀県立大学入学試験実施本部まで問合わせてください。
- ⑥ 一度正式に受付をした出願書類および受領した入学検定料は、理由のいかんを問わず返還しません。ただし、次の(ア)または(イ)に該当する者は、入学検定料の一部または全部を返還しますので、大学にその旨を申し出て、所定の返還手続をしてください。
 - (ア) 入学検定料を納付した者で、出願期間内に書類を提出しなかった者
 - (イ) 入学検定料を誤って二重に納付した者

(2) 受験上の注意事項

- ① 試験当日は、「本学受験票」を必ず持参してください。また、受験票に同封する「受験上の注意事項」をよく読んで受験してください。
- ② 上記「受験上の注意事項」には、不正行為に関する注意事項も記載します。
当日に試験監督者が行う注意事項説明、また、配布される問題冊子・解答冊子に記載の注意事項と併せて厳守してください。
なお、不正行為と認定された場合は、それ以降の受験はできず、入学者選抜の対象から除きます。また、警察への被害届の提出を含めて厳正に対処することとします。
- ③ 総合問題の受験者は、入室時刻までに指定された試験室に入室し、着席してください。また大学入学共通テストを課す学部・学科の受験者(面接のみの受験者)は、受験票に同封して送付する受験案内でお知らせする集合時刻までに受験者控室に集合し、待機してください。
- ④ 総合問題の開始後は、30分以内の遅刻に限り受験を認めますが、試験時間の延長は行いません。
- ⑤ 「総合問題もしくは大学入学共通テスト」または「面接」のいずれか一方でも受けなかった者は、入学者選抜の対象から除きます。
- ⑥ 大学入学共通テストを課す学部・学科の受験者は、本学の指定している「大学入学共通テスト教科・科目」を必ず受験してください。なお、大学入学共通テストの「地理歴史」・「公民」および「理科」について、受験科目を1科目と指定している学科を受験した場合、2科目受験した者は、第1解答科目の得点を採用しますので、注意してください。
- ⑦ 当日、受験票を忘れた者は、速やかに試験本部で仮受験票の交付を受けてください。また、受験票は入学手続きの際に必要となるので、試験後も大切に保管してください。
- ⑧ 音を立てるなど他の受験生に影響があると判断される場合は、別室受験等の措置をとることがあります。
- ⑨ 総合問題の時間に使用を許可するものは、鉛筆(シャープペンシルも可)、消しゴム、鉛筆削り、時計(計時機能のみのも)に限ります。
- ⑩ 試験室での受験者間の物品の貸借は一切認めません。
- ⑪ 試験場や南彦根駅前などで、金銭を必要とする合格電報等の受付を行う者がいても、滋賀県立大学とは一切関係がありません。住所や電話番号を相手方に伝え、その後、トラブル等が生じて、本学では責任を負えないので注意してください。
- ⑫ 11月22日に限り試験場の下見はできますが、建物内への立入はできません。

(3) その他の注意事項

悪天候、震災、感染症のまん延等による不測の事態により、試験日時や選抜方法等を変更する場合があります。その際は、大学ウェブサイト(<https://www.usp.ac.jp/>)への掲載等によりお知らせしますので、大学からの情報発信に留意して下さい。

令和7年度特別選抜の実施教科・科目等(帰国生徒特別選抜)

学部・学科等名 及び入学定員 等	学力検査 等の区分・ 日程	教育課程	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等		大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等												
			教科	科目名等	教科等	科目名等	試験 時間 (分)	試験の区分	国 語	地 歴 公 民	数 学	理 科	外 国 語	情 報	総 合	面 接	配 点 合 計		
環境科学部 環境生態 学科 入学定員 30人 帰国生徒 若干名	帰国生徒 11月24日	新 教 育 課 程 履 修 者	国	「国」(近代以降の文章のみ) 「地理総,地理探」「歴総,日探」「歴総,世探」「地理総/歴総 /公」「公,倫」「公,政・経」 から1 (注3)(注4)	その他	面接(口頭試問を含む)	10 程度	大学入学 共通テスト	100	100	150	200	200	50			800	共通テスト英語配点内訳 リーディング リスニング 160 40	
			地歴 公民 数 理 外 情	「数Ⅰ」「数Ⅰ,数A」「数Ⅱ,数B,数C」から1 「物」「化」「生」「地学」から2 「英」(注1) 「情報Ⅰ」															
		[6教科7科目]		旧 教 育 課 程 履 修 者 等				国	「国」(近代以降の文章のみ) 「地理総,地理探」「歴総,日探」「歴総,世探」「地理総/歴総 /公」「公,倫」「公,政・経」「旧世A」「旧世B」「旧日A」「旧 日B」「旧地理A」「旧地理B」「旧現社」「旧倫」「旧政経」, 「旧倫・政経」から1 (注3)(注4)	100	100	150	200	200	50		800		800
		数 理 外 情	「数Ⅰ」「数Ⅰ,数A」「数Ⅱ,数B,数C」「旧数Ⅰ」「旧数Ⅰ・ 旧数A」「旧数Ⅱ」「旧数Ⅱ・旧数B」「旧簿」「旧情報関係 基礎」から1 (注2)(注3) 「物」「化」「生」「地学」から2 「英」(注1) 「情報Ⅰ」「旧情報」から1																
[6教科7科目]		計		100	100	150	200	200	50		800	1600							
環境科学部 環境政策・ 計画学科 入学定員 40人 帰国生徒 若干名	帰国生徒 11月24日	新 教 育 課 程 履 修 者	国 数 外 情	「国」 「数Ⅰ」「数Ⅰ,数A」から1 と「数Ⅱ,数B,数C」 「英」(注1) 「情報Ⅰ」	その他	面接(口頭試問を含む)	10 程度	大学入学 共通テスト	200		200		200	50			650	共通テスト英語配点内訳 リーディング リスニング 160 40	
			[4教科5科目]																旧 教 育 課 程 履 修 者 等
		[4教科5科目]		旧 教 育 課 程 履 修 者 等				国 数 外 情	「国」 「数Ⅰ」「数Ⅰ,数A」「数Ⅱ,数B,数C」「旧数Ⅰ」「旧数Ⅰ・ 旧数A」「旧数Ⅱ」「旧数Ⅱ・旧数B」「旧簿」「旧情報関係 基礎」から2 (注2) 「英」(注1) 「情報Ⅰ」「旧情報」から1										
		[4教科5科目]						計		200		200		200	50	600	1250		

令和7年度特別選抜の実施教科・科目等(帰国生徒特別選抜)

学部・学科等名 及び入学定員 等	学力検査 等の区分・ 日程	教育課程	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等		大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等											
			教科	科目名等	教科等	科目名等	試験 時間 (分)	試験の区分	国 語	地 歴 公 民	数 学	理 科	外 国 語	情 報	総 合	面 接	配 点 合 計	
環境科学部 環境建築 デザイン 学科 入学定員 50人 帰国生徒 若干名	帰国生徒 11月24日	新教育課程履修者	数	「数Ⅰ」、「数Ⅰ,数A」、「数Ⅱ,数B,数C」から1(注3) 「物」、「化」、「生」、「地学」から2 「情報Ⅰ」 「英」(注1)	その他	面接(口頭試問を含む)	10 程度	大学入学 共通テスト			100	*100 または #200	100	*100 または #0			400	400
			理 情 外	[3(4)教科4科目]														
		旧教育課程履修者等	数	「数Ⅰ」、「数Ⅰ,数A」、「数Ⅱ,数B,数C」、「旧数Ⅰ」、「旧数Ⅰ・ 旧数A」、「旧数Ⅱ」、「旧数Ⅱ・旧数B」、「旧簿」、「旧情報関係 基礎」から1(注2)(注3) 「物」、「化」、「生」、「地学」から2 「情報Ⅰ」、「旧情報」 「英」(注1)														
			[3(4)教科4科目]							100	*100 または #200	100	*100 または #0			400	800	
環境科学部 生物資源 管理学科 入学定員 60人 帰国生徒 若干名	帰国生徒 11月24日	新教育課程履修者	数	「数Ⅰ」、「数Ⅰ,数A」、「数Ⅱ,数B,数C」から1(注3) 「情報Ⅰ」 「物」、「化」、「生」、「地学」から2 「英」(注1)	その他	面接(口頭試問を含む)	10 程度	大学入学 共通テスト			*100	100	100	*100			300	300
			理 情 外	[3教科4科目]														
		旧教育課程履修者等	数	「数Ⅰ」、「数Ⅰ,数A」、「数Ⅱ,数B,数C」、「旧数Ⅰ」、「旧 数Ⅰ・旧数A」、「旧数Ⅱ」、「旧数Ⅱ・旧数B」、「旧 簿」、「旧情報関係基礎」から1 「情報Ⅰ」、「旧情報」(注2) 「物」、「化」、「生」、「地学」から2 「英」(注1)														
			[3教科4科目]							*100	100	100	*100			300	600	

共通テスト英語配点内訳	
リーディング	リスニング
80	20

共通テスト英語配点内訳	
リーディング	リスニング
80	20

令和7年度特別選抜の実施教科・科目等(帰国生徒特別選抜)

学部・学科等名 及び入学定員等	学力検査 等の区分・ 日程	教育課程	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等			大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等										
			教科	科目名等	教科等	科目名等	試験 時間 (分)	試験の区分	国語	地歴 公民	数学	理科	外国 語	情報	総合	面接	配点 合計	
工学部 材料化学科 入学定員 50人 帰国生徒 若干名	帰国生徒 11月24日	新教育課程履修者 旧教育課程履修者等	数理 外情	「数Ⅰ,数A」と「数Ⅱ,数B,数C」 「物」と「化」 「英」(注1) 「情報Ⅰ」	その他	面接(口頭試問を含む)	10 程度	大学入学 共通テスト			200	250	200	100			750	共通テスト英語配点内訳 リーディング リスニング 160 40
				[4教科6科目]				個別学力 検査等						200	200			
				「数Ⅰ,数A」,「数Ⅱ,数B,数C」,「旧数Ⅰ・旧数A」,「旧数Ⅱ・ 旧数B」,「旧簿」,「旧情報関係基礎」から2(注2) 「物」と「化」 「英」(注1) 「情報Ⅰ」,「旧情報」から1											200	250	200	
工学部 機械システム工学科 入学定員 50人 帰国生徒 若干名	帰国生徒 11月24日	新教育課程履修者 旧教育課程履修者等	数理 外情	「数Ⅰ,数A」と「数Ⅱ,数B,数C」 「物」と「化」 「英」(注1) 「情報Ⅰ」	その他	面接(口頭試問を含む)	10 程度	大学入学 共通テスト			300	300	200	50			850	共通テスト英語配点内訳 リーディング リスニング 150 50
				[4教科6科目]				個別学力 検査等							200	200		
				「数Ⅰ,数A」,「数Ⅱ,数B,数C」,「旧数Ⅰ・旧数A」,「旧数Ⅱ・ 旧数B」,「旧簿」,「旧情報関係基礎」から2(注2) 「物」と「化」 「英」(注1) 「情報Ⅰ」,「旧情報」から1											300	300	200	
				[4教科6科目]														

令和7年度特別選抜の実施教科・科目等(帰国生徒特別選抜)

学部・学科等名 及び入学定員 等	学力検査 等の区分・ 日程	教育課程	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等		大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等										
			教科	科目名等	教科等	科目名等	試験 時間 (分)	試験の区分	国 語	地歴 公民	数 学	理 科	外 国 語	情 報	総 合	面 接	配 点 合 計
工学部 電子システム工学科 入学定員 50人 帰国生徒 若干名	帰国生徒 11月24日	新教育課程履修者	数理 外情	「数Ⅰ,数A」と「数Ⅱ,数B,数C」 「物」と「化」 「英」(注1) 「情報Ⅰ」	その他	面接(口頭試問を含む)	10 程度	大学入学 共通テスト			300	300	200	100			900
				[4教科6科目]				個別学力 検査等							200	200	
		旧教育課程履修者等	数 理 外 情	「数Ⅰ,数A」、「数Ⅱ,数B,数C」、「旧数Ⅰ・旧数A」、「旧数Ⅱ・ 旧数B」、「旧簿」、「旧情報関係基礎」から2(注2) 「物」と「化」 「英」(注1) 「情報Ⅰ」、「旧情報」から1								300	300	200	100		200
				[4教科6科目]				計									
人間文化 学部 地域文化 学科 入学定員 60人 帰国生徒 若干名	帰国生徒 11月23日	新、旧教育課程履修者等			その他	総合問題	120 10 程度	大学入学 共通テスト									
					その他	面接(口頭試問を含む)		個別学力 検査等						100	100	200	
																	100
				課さない				計									

共通テスト英語配点内訳	
リーディング	リスニング
160	40

令和7年度特別選抜の実施教科・科目等(帰国生徒特別選抜)

学部・学科等名 及び入学定員 等	学力検査 等の区分・ 日程	教育課程	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等		大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等														
			教科	科目名等	教科等	科目名等	試験 時間 (分)	試験の区分	国 語	地歴 公民	数 学	理 科	外 国 語	情 報	総 合	面 接	配 点 合 計				
人間文化 学部 生活デザイ ン学科 入学定員 30人 帰国生徒 若干名	帰国生徒 11月24日	新 教 育 課 程 履 修 者	国	「国」 「地理総,地理探」,「歴総,日探」,「歴総,世探」,「地理 総/歴総/公」,「公,倫」,「公,政・経」 から1 「数Ⅰ」,「数Ⅰ,数A」,「数Ⅱ,数B,数C」 から1 「物基/化基/生基/地基」,「物」,「化」,「生」,「地学」 から1 「情報Ⅰ」 「英」(注1)	その他	面接(口頭試問を含む)	10 程度	大学入学 共通テスト	*100	*100	*100	*100	100	*100					300		
			地歴 公民																		
		数 理																			
		情 外																			
		旧 教 育 課 程 履 修 者 等	国	「国」 「地理総,地理探」,「歴総,日探」,「歴総,世探」,「地理 総/歴総/公」,「公,倫」,「公,政・経」,「旧世A」,「旧世 B」,「旧日A」,「旧日B」,「旧地理A」,「旧地理B」,「旧 現社」,「旧倫」,「旧政経」,「旧倫・政経」 から1 「数Ⅰ」,「数Ⅰ,数A」,「数Ⅱ,数B,数C」,「旧数Ⅰ」,「旧 数Ⅰ・旧数A」,「旧数Ⅱ」,「旧数Ⅱ・旧数B」,「旧 簿」,「旧情報関係基礎」 から1 「物基/化基/生基/地基」,「物」,「化」,「生」,「地学」 から1 「情報Ⅰ」,「旧情報」 から1 「英」(注1)	その他	面接	10 程度	大学入学 共通テスト	*100	*100	*100	*100	100	*100					150	150	
地歴 公民																					
		数																			
		理																			
		情 外																			
人間文化 学部 生活栄養 学科 入学定員 30人 帰国生徒 若干名	帰国生徒 11月24日	新 教 育 課 程 履 修 者	数 理 外 情	「数Ⅰ,数A」と「数Ⅱ,数B,数C」 「物」,「化」,「生」 から2 「英」(注1) 「情報Ⅰ」	その他	面接	10 程度	大学入学 共通テスト				100	100	100	20					320	
			数																		
		理																			
		情 外																			
		旧 教 育 課 程 履 修 者 等	数	「数Ⅰ,数A」,「数Ⅱ,数B,数C」,「旧数Ⅰ・旧数A」, 「旧数Ⅱ・旧数B」,「旧簿」,「旧情報関係基礎」か ら2(注2) 「物」,「化」,「生」 から2 「英」(注1) 「情報Ⅰ」,「旧情報」 から1	その他	面接	10 程度	大学入学 共通テスト													
理																					
		情 外																			

共通テスト英語配点内訳	
リーディング	リスニング
70	30

共通テスト英語配点内訳	
リーディング	リスニング
80	20

令和7年度特別選抜の実施教科・科目等(帰国生徒特別選抜)

学部・学科等名 及び入学定員 等	学力検査 等の区分・ 日程	教育課程 教科	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等			大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等									
			科目名等	教科等	科目名等	試験 時間 (分)	試験の区分	国 語	地 歴 公 民	数 学	理 科	外 国 語	情 報	総 合	面 接	配 点 合 計	
人間文化 学部 人間関係 学科 入学定員 30人 帰国生徒 若干名	帰国生徒 11月23日	新、旧教育課程履修者等	課さない	その他	総合問題	120 10 程度	大学入学 共通テスト										
				その他	面接(口頭試問を含む)		個別学力 検査等						100	100	200		
							計						100	100	200		
人間文化 学部 国際コミュ ニケーション 学科 入学定員 50人 帰国生徒 若干名	帰国生徒 11月23日	新、旧教育課程履修者等	課さない	その他	総合問題	120 10 程度	大学入学 共通テスト										
				その他	面接(口頭試問を含む)		個別学力 検査等						100	100	200		
							計						100	100	200		
人間看護 学部 人間看護 学科 入学定員 70人 帰国生徒 若干名	帰国生徒 11月23日	新、旧教育課程履修者等	課さない	その他	総合問題	90 10 程度	大学入学 共通テスト										
				その他	面接		個別学力 検査等						200	50	250		
							計						200	50	250		

* 特記事項

大学入学共通テストの利用教科・科目名の表記について

1 利用教科名は次のように略しています。

国語→国、地理歴史→地歴、数学→数、理科→理、外国語→外、情報→情

2 利用科目名は次のように略しています。

「国語」→「国」

「地理総合,地理探究」→「地理総,地理探」,「歴史総合,日本史探究」→「歴総,日探」,「歴史総合,世界史探究」→「歴総,世探」

「地理総合/歴史総合/公共」→「地理総/歴総/公」,「公共,倫理」→「公,倫」,「公共,政治・経済」→「公,政・経」

「数学Ⅰ」→「数Ⅰ」,「数学Ⅰ,数学A」→「数Ⅰ,数A」,「数学Ⅱ,数学B,数学C」→「数Ⅱ,数B,数C」

「物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎」→「物基/化基/生基/地基」,「物理」→「物」,「化学」→「化」,「生物」→「生」,「地学」→「地学」

「英語」→「英」

「旧世界史A」→「旧世A」,「旧世界史B」→「旧世B」,「旧日本史A」→「旧日A」,「旧日本史B」→「旧日B」,「旧地理A」→「旧地理A」,「旧地理B」→「旧地理B」,

「旧現代社会」→「旧現社」,「旧倫理」→「旧倫」,「旧政治・経済」→「旧政経」,「旧倫理,政治・経済」→「旧倫・政経」

「旧数学Ⅰ」→「旧数Ⅰ」,「旧数学Ⅰ・数学A」→「旧数Ⅰ・数A」,「旧数学Ⅱ」→「旧数Ⅱ」,「旧数学Ⅱ・数学B」→「旧数Ⅱ・数B」,「旧簿記・会計」→「旧簿」,

「旧情報関係基礎」→「旧情報関係基礎」

3 次の例のように利用科目名、利用方法を示しています。

【例】「物理」,「化学」,「生物」から1科目を選択 → 「物」,「化」,「生」 から1

大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等欄について

1 配点に*印または#印を付してある教科は選択教科を表します。

2 大学入学共通テストの外国語の「英語」は「リーディング(100点満点)」と「リスニング(100点満点)」のそれぞれを各学科の傾斜配点に換算し、それらの合計を利用します。

3 2科目を科す教科の配点は、合計得点を表しており、表の右側に配点内訳の記載がない場合は、それぞれの配点は均等とします。

入試過去問題活用宣言について

・本学では、「入試過去問題活用宣言」に参加している大学(提供大学)の入試過去問題を使用して出題する場合があります。また、入試過去問題を使用する際には、そのまま使用することも、一部改変することもあります。

・「入試過去問題活用宣言」についての詳細および参加大学の一覧については、ホームページアドレス：<https://www.nyushikakomon.jp>にて公表しています。

注意事項

【大学入学共通テストの利用教科・科目名】欄

(注1) 外国語の「英語」は「リーディング」および「リスニング」です。(大学入試センターからリスニングを免除された者を除く)

(注2) 「旧簿記・会計」および「旧情報関係基礎」を選択解答できる者は、高等学校または中等教育学校においてこれらの科目を履修した者および文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了(見込み)の者に限ります。

(注3) 指定された教科(又は科目)の範囲内で、必要とする教科(又は科目)数を超えて受験している場合、得点の高い教科(又は科目)の得点を採用します。ただし、「地理歴史」,「公民」及び「理科」において受験科目を1科目と指定しているところを2科目受験した場合は、第1解答科目の得点を採用します。

(注4) 「地理総/歴総/公」や「物基/化基/生基/地基」等にある“/”は、1つの出題科目の中で複数の出題範囲を選択解答することを表します。いずれも2つの出題範囲を選択することで1科目とします。

IV 入学手続、初年度納付金等

1 入学手続

(1) 入学届の提出

以下の選抜において合格通知書を受け取った者は、所定の入学届を期日までに必ず提出してください。

- ・ 帰国生徒特別選抜 (大学入学共通テストを課さない学部・学科のみ) 期日：令和6年12月25日(水)まで
- ・ 私費外国人留学生特別選抜 期日：令和7年2月6日(木)まで

なお、期間内に入学届を提出しなかった者については、入学を辞退したものとして取り扱います。

(2) 入学手続期間

帰国生徒特別選抜 私費外国人留学生特別選抜	} 令和7年3月8日(土)から3月15日(土)まで(必着)
--------------------------	-------------------------------

(3) 入学手続方法

① 入学手続に必要な書類は、帰国生徒特別選抜(大学入学共通テストを課す学部・学科)合格者に対しては、合格通知書に同封して直接本人あてに郵送します。

また、帰国生徒特別選抜(総合問題を課す学部・学科)および私費外国人留学生特別選抜に合格して入学届を提出した者に対しては、令和5年2月下旬に入学手続きに必要な書類を直接本人あてに郵送します。

② 入学手続きは、必要な書類を揃え、持参または郵送により行います。郵送による場合は必ず

書留速達扱いとし、入学手続期間最終日必着とします。直接持参する場合は、3月7日(金)、10日(月)、11日(火)、14日(金)、15日(土)の午前9時から午後5時までとします。
(12日(水)、13日(木)は入学試験実施のため持参受付はできません)

(4) 提出書類等

- ① 誓約書(本学所定の様式)
- ② 保証書(本学所定の様式)
- ③ 入学料振込確認票(指定の振込用紙で金融機関振込後の振込金受領証明書を貼付)
- ④ 学生証用写真1枚(正面上半身無帽、カラー、背景なし)
- ⑤ 滋賀県内に住所を有する者のみ住民票【本籍、続柄、マイナンバーの記載されていないもの】

(5) 入学手続先

〒522-8533 滋賀県彦根市八坂町 2500

滋賀県立大学 入学試験実施本部 (A1棟201 入試室) (TEL:0749-28-8226)

(6) 入学手続上の注意事項

- ① 入学料を納付しただけでは、入学手続きは完了しません。納付後に入学手続きを行ってください。
- ② 必要な書類がすべてそろっていない場合には受け付けできませんので、書類の提出の際には十分確認してください。
- ③ 入学手続期間を過ぎて到着したものは受け付けできませんので、郵送の場合は、所要日数を十分に考慮して発送してください。
- ④ 入学手続きは、所定の期日までに完了してください。期間内に入学手続きを完了しなかった者については、入学を辞退したものとして取り扱います。
- ⑤ 一度受付をした入学手続書類および入学料は、理由のいかんを問わず返還しません。

2 初年度納付金

(1) 入学料

入学手続の際には、下記の金額の入学料を所定の用紙により指定金融機関へお振り込みください。

- ① 滋賀県内の者 282,000円
- ② 上記以外の者 423,000円

(注) 滋賀県内の者とは、次の各号のいずれかに該当する方をいいます。

ア 入学の日の1年前(令和6年4月1日)から引き続き滋賀県内に住所を有する者

イ 入学の日の1年前(令和6年4月1日)から引き続き滋賀県内に配偶者または1親等の親族(生計を一にする者に限る。)が住所を有する者

※私費外国人留学生で、合格後に入学料の減免申請を行って減免が認められた場合の減免後の入学料は、282,000円になります。

(2) 授業料

- ① 年 額 535,800円(令和6年度の額であり、改定されることがあります。)
なお、在学中に授業料が改定された場合には、改定後の授業料が適用されます。

- ② 納付方法 入学後、前期、後期の2回に分けて納付してください。

- ③ 納付時期 前期 5月27日、後期 11月27日 (口座引落日)

(注) 授業料は、原則として口座振替により納付していただきます。手続きの詳細については、合格後にお知らせします。

(3) 後援会費

入学手続の際に、後援会費(4年間分50,000円)を所定の振込用紙により納付してください。

(4) 同窓会費

入学手続の際に、同窓会費(終身会費10,000円)を所定の振込用紙により納付してください。

3 その他

(1) 授業料等減免および給付奨学金

「大学等における修学の支援に関する法律」に基づき、経済的に厳しい状況にある住民税非課税世帯およびそれに準ずる世帯の方は、日本学生支援機構の給付奨学金を受給するとともに、大学による授業料等の減免が受けられます。

給付奨学金の額および授業料減免の額は、収入により4つの区分に分けられます。

(制度の概要)

	授業料減免の額 (半期ごと)	給付奨学金	
		自宅通学生	自宅外通学
第Ⅰ区分	267,900円 (全額免除)	29,200円	66,700円
第Ⅱ区分	178,600円 (2/3免除)	19,500円	44,500円
第Ⅲ区分	89,300円 (1/3免除)	9,800円	22,300円
第Ⅳ区分	67,000円 (1/4免除)	7,300円	16,700円

※令和6年度の内容であり、令和7年度以降は変更される場合があります。

(2) 日本学生支援機構が貸与する奨学金

奨学生の決定は、学内で出願者の資格審査後、該当者を推薦し、日本学生支援機構が行います。

区分	貸与月額	
第一種奨学金 (無利子)	自宅通学者	20,000円・30,000円・45,000円
	自宅以外通学者	20,000円・30,000円・40,000円・51,000円
第二種奨学金 (有利子)	20,000円～120,000円 (10,000円刻み)	

※他に入学時特別増額貸与奨学金 (10万円・20万円・30万円・40万円・50万円) があります。

(3) 学生教育研究災害傷害保険

通学途中を含む正課の授業や課外活動中の事故等による傷害補償を行うもので、全員加入です。保険料は、後援会から一括して支払われます。

(4) 留学費用

一定の条件のもとに海外への留学者を経済的に支援する制度があります。

(5) 国の教育ローン (日本政策金融公庫)

入学金、授業料、教科書代、アパートの敷金・家賃など、入学時や在学時に必要となる資金を融資する公的な制度として、「国の教育ローン」があります。融資金額は、学生・生徒1人につき350万円以内、返済期間は18年以内です。

詳しくは、「国の教育ローン」ホームページ (<https://www.jfc.go.jp/>) またはコールセンター (0570-008656 (ナビダイヤル)) まで問い合わせてください。

(6) 人間文化学部生活栄養学科、人間看護学部人間看護学科入学者を対象としたワクチン接種について

医療施設における実習に備え、入学後に各種感染症の抗体価検査を実施します。陰性の場合にはワクチン接種 (自費) が必要となりますので、ご承知おきください。

インターネット出願の流れ

出願完了までの流れは、以下の通りです



STEP

1

事前準備

インターネットに接続されたパソコン、プリンターなどを用意してください。(スマートフォン、タブレットは非推奨)
必要書類※は、発行まで時間を要する場合があります。早めに準備を始め、出願前には必ず手元にあるようにしておいてください。

※必要書類…調査書、写真データなど



STEP

2

インターネット出願サイトにアクセス

インターネット出願サイト ▶

<https://e-apply.jp/ds/usp/>

または、

大学ホームページ ▶

<https://www.usp.ac.jp/>

からアクセス



STEP

3

マイページの登録

画面の手順に従って、必要事項を入力してマイページ登録を行ってください。
なお、マイページの登録がお済みの方は、STEP4に進んでください。



①初めて登録する方は
マイページ登録 から
ログインしてください。



②メールアドレスの登録を行って
仮登録メールを送信 を
クリックしてください。



③ユーザー登録画面から
ログインページへ を
クリックしてください。



④登録したメールアドレスに
初期パスワードと
本登録用URLが届きます。
※@e-apply.jpのドメインからのメール
を受信できるように設定してください。



⑤ログイン画面から
登録したメールアドレスと④で
届いた『初期パスワード』にて
ログイン を
クリックしてください。



⑥初期パスワードの変更を
行ってください。



⑦表示された個人情報を入力して
次へ を
クリックしてください。



⑧個人情報を確認して
この内容で登録する を
クリックしてください。



⑨ 登録完了となります。
マイページへ
をクリックしてください。



⑩ 上記ページが表示されたら
マイページ登録は完了です。

※出願受付中の場合のみ、**出願手続きを行う** ボタンをクリックすると出願手続きに進めます。
登録期間外の場合は、これより先に進みませんので **ログアウト** ボタンをクリックしてください。

STEP

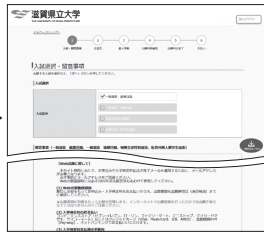
4

出願内容の登録

画面の手順や留意事項を必ず確認して、画面に従って必要事項を入力してください。



① マイページログイン後の
出願手続きを行う ボタン
から登録画面へ



② 入試選択と留意事項の確認



③ 志望学部等の選択



④ 顔写真のアップロード
写真選択へ ボタンをクリックし
写真を選択します。



⑤ 個人情報(氏名・住所等)の
入力



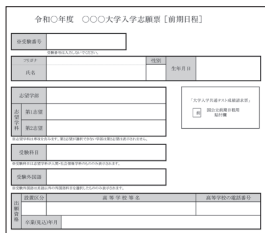
⑥ 出願内容の確認



⑦ 申込登録完了
引き続き支払う ボタンを
クリックし検定料のお支払い画面へ。



⑧ 入学検定料の支払い方法
● コンビニエンスストア
● ペイジー対応銀行ATM
● ネットバンキング ● クレジットカード



⑨ 出願に必要な書類PDF
(イメージ)

※ 検定料納入後に出力可能となります。

入学検定料の支払い方法で「コンビニエンスストア」または「ペイジー対応銀行ATM」を選択された方は、支払い方法の選択後に表示されるお支払いに必要な番号を下記メモ欄に控えたうえ、通知された「お支払い期限」内にコンビニエンスストアまたはペイジー対応銀行ATMにてお支払いください。

セブン-イレブンの場合

払込票番号
メモ(13桁)

デイリーヤマザキ、セイコーマートの場合

オンライン決済
番号メモ(11桁)

ローソン、ミニストップ、ファミリーマート、ペイジー対応銀行ATMの場合

お客様番号
メモ(11桁)

確認番号
メモ(6桁)

収納機関番号
(5桁) **5 8 0 2 1** ※収納機関番号は、ペイジーで
お支払いの際に必要となります。

申込登録完了後に確認メールが送信されます。メールを受信制限している場合は、送信元(@e-apply.jp)からのメール受信を許可してください。 ※確認メールが迷惑フォルダなどに振り分けられる場合がありますので、注意してください。



申込登録完了後は、登録内容の修正・変更ができませんので誤入力のないよう注意してください。ただし、入学検定料支払い前であれば正しい出願内容で再登録することで、実質的な修正が可能です。

※「入学検定料の支払い方法」でクレジットカードを選択した場合は、出願登録と同時に支払いが完了しますので注意してください。



入学検定料*の支払い

* 入学検定料(17,000円)の他に受験票郵送料や振込手数料を併せて支払います。

1 クレジットカードでの支払い

出願内容の登録時に選択し、支払いができます。

【ご利用可能なクレジットカード】

VISA, Master, JCB, AMERICAN EXPRESS, MUFGカード, DCカード, UFJカード, NICOSカード



出願登録時に支払い完了

2 ネットバンキングでの支払い

出願内容の登録後、ご利用画面からそのまま各金融機関のページへ遷移しますので、画面の指示に従って操作し、お支払いください。

※決済する口座がネットバンキング契約されていることが必要です

Webで手続き完了

3 コンビニエンスストアでの支払い

出願内容の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、コンビニエンスストアでお支払いください。

- レジで支払い可能
- 店頭端末を利用して支払い可能

セブン-イレブン

Loppi

LAWSON

MINI STOP



マルチコピー機

あなたも、コンビニ。
FamilyMart

4 ペイジー対応銀行ATMでの支払い

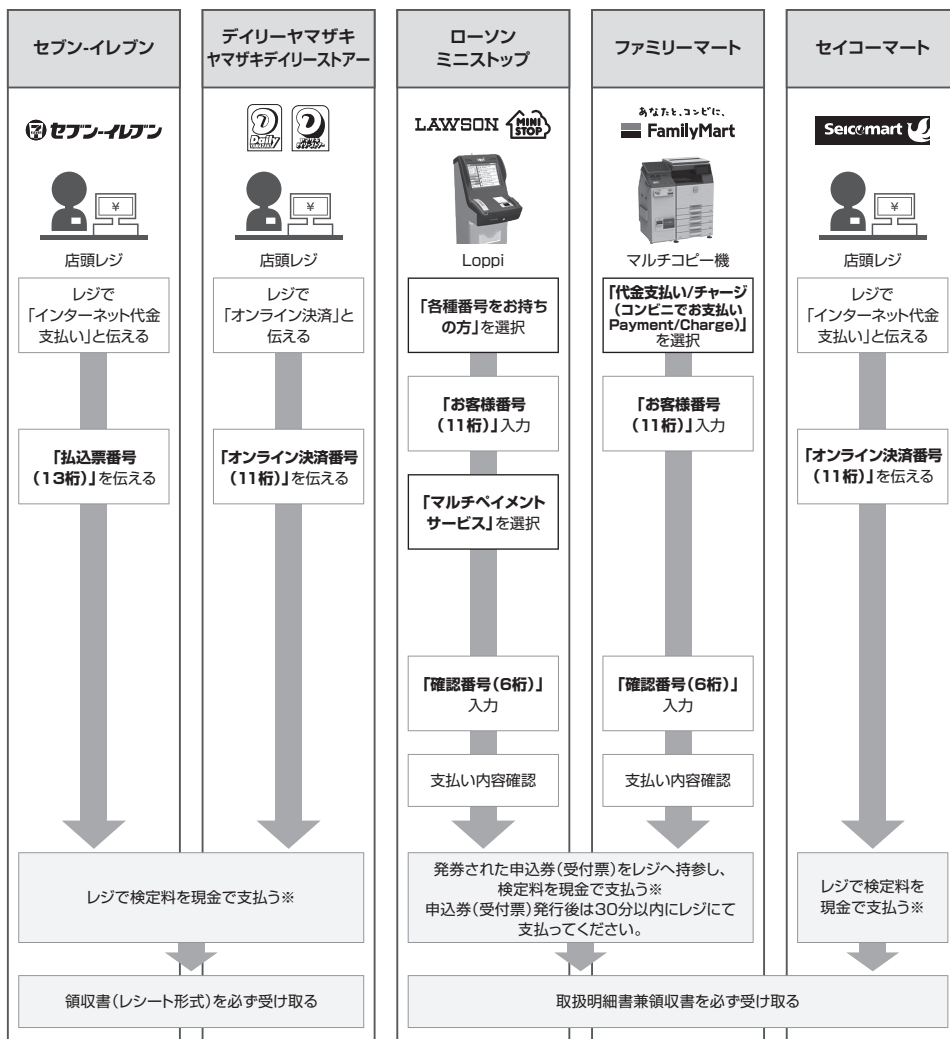
出願内容の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、ペイジー対応銀行ATMにて画面の指示に従って操作のうえお支払いください。



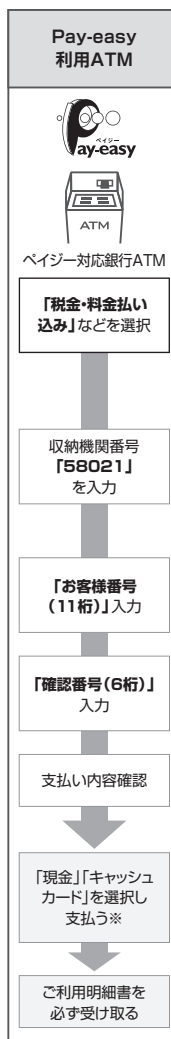
※利用可能な銀行は「支払い方法選択」画面で確認してください。

各コンビニ端末画面・ATMの画面表示に従って必要な情報を入力し、内容を確認してから入学検定料を支払ってください。

3 コンビニエンスストア



4 銀行ATM



※ゆうちょ銀行・銀行ATMを利用する場合、現金で10万円を超える場合はキャッシュカードで支払ってください。コンビニエンスストアを利用の場合は現金で30万円までの支払いとなります。

STEP

6



出願書類の印刷

- (1) マイページに表示された **出願票(印刷)** のボタンをクリックしてください。
- (2) お支払いが正常に完了すると **出願票(印刷)** のボタンがクリックできるようになりWeb出願票の出力ができます。



STEP

7



出願書類の郵送

*登録しただけでは出願は完了していませんのでご注意ください。

出願に必要な書類を出願期間内に郵便局窓口から「書留速達」で郵送してください。

出願書類

- 学校推薦型選抜
 - ・入学志願票 (A 1 票)
 - ・志望理由書 (B 票)
 - ・調査書または成績証明書など
 - ・推薦書 (C 票)
 - ・住民票記載事項証明書 (D 1 票/ D 2 票) ※該当者のみ
- 帰国生徒特別選抜
 - ・入学志願票 (A 2 票)
 - ・身上調査書 (A 2-2 票)
 - ・志望理由書 (B 票)
 - ・卒業 (修了) 証明書および成績証明書等
 - ・調査書※該当者のみ
 - ・志願者および保護者の海外在留証明書
- 私費外国人留学生特別選抜
 - ・入学志願票 (A 3 票)
 - ・学校歴調査書 (A 3-2 票)
 - ・志望理由書 (B 票)
 - ・卒業 (修了) 証明書および成績証明書等
 - ・日本留学試験の受験票の写し
 - ・住民票の写し
 - ・パスポートのカラーコピー

宛名シート

出願書類提出用封筒宛名シート

市販の角形2号封筒(24cm×33.2cm)に貼り付けて作成(出願書類を持参される場合も必ず貼り付けて作成してください)

〈出願完了〉

出願時の 注意点

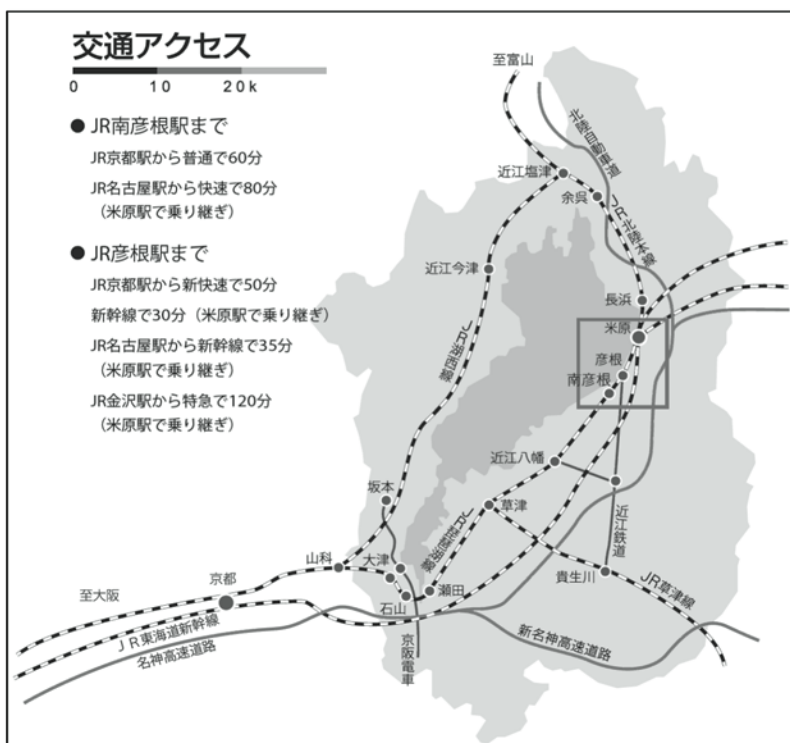
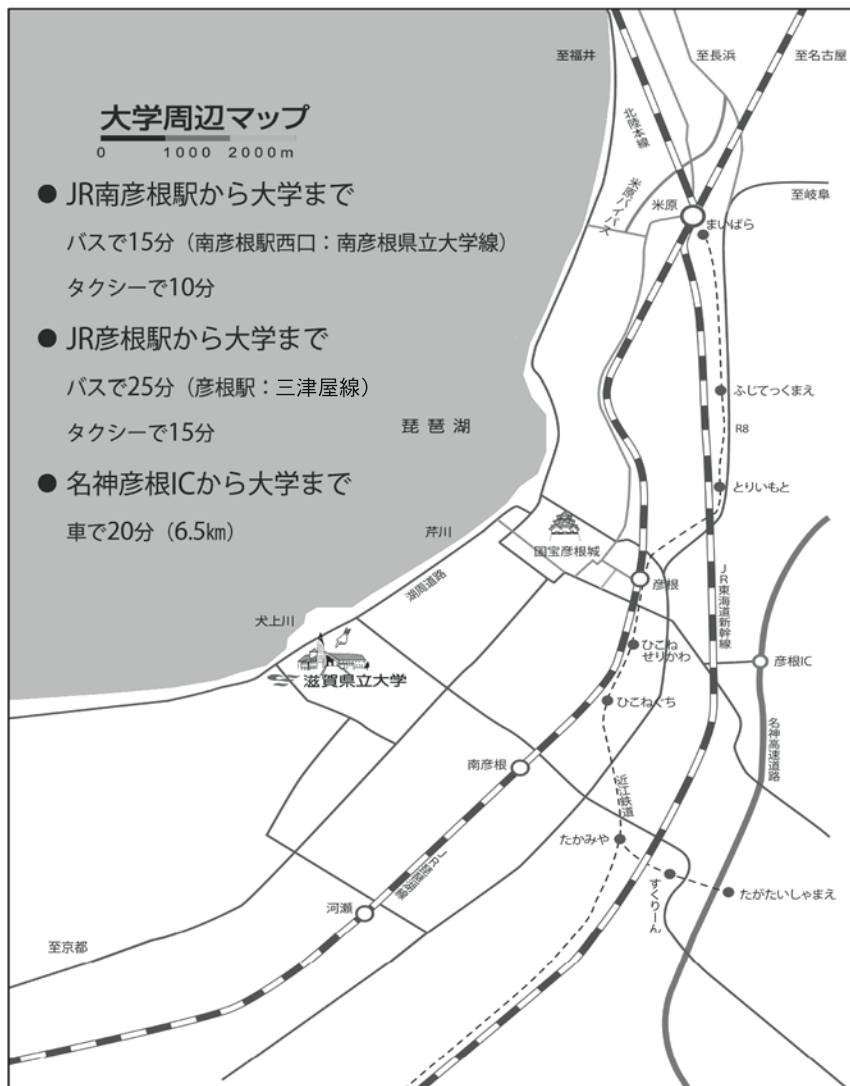
出願はWeb出願サイトでの登録完了後、入学検定料を支払い、出願書類を郵送して完了となります。登録しただけでは出願は完了しませんのでご注意ください。

出願期間最終日の出願登録、入学検定料の支払は、17時(営業時間はコンビニエンスストアやATMなど、施設によって異なります)までとなりますが、出願書類の郵送は各募集要項で定められた期間内に到着するよう、ゆとりを持った出願を心がけてください。

受験票の発行

- 受験票は、Web登録した住所へ本人宛に郵送します。試験日の3日前までに受験票が届かない場合は、本学教務課入試室までお問い合わせください。
- 受験票が届いたら、記載事項を必ず確認してください。不備がある場合は速やかに本学教務課入試室まで連絡してください。
- 試験当日は、必ず受験票を持参してください。

大学周辺・交通案内





公立大学法人
滋賀県立大学

THE UNIVERSITY OF SHIGA PREFECTURE

〒522-8533 滋賀県彦根市八坂町 2500
Tel.0749-28-8217・8243 Fax.0749-28-8472
ホームページアドレス <https://www.usp.ac.jp/>
E-mail:nyushi@office.usp.ac.jp